資料 1-5

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：　藤田医科大学ばんたね病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。（令和８年５月１日現在）

１．病院の機能及び医師等の配置

項　　目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕 PAE(小児アレルギーエデュケーター)２名、CAI(アレルギー疾患療養指導士)4 名、皮膚疾患ケア看護師２名、両立支援コーディネーター14 名〈重複有り〉	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	2	2	1
小児科	4	3	1
皮膚科	1	1	0
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	1	0	0
総合アレルギー科	6	5	4

２．アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

		実　　績（令和７年度）			今　後　の　予　定（令和８年度）		
		診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	講演会等	センター	一般市民、医療従事者、教育関係者	当センターWebsite「アレルギー情報ステーション」でのメールによる相談窓口運営、主な質問の Q&A 集の作成、公開 https://www.fujita-hu.ac.jp/general-allergy-center/information-station/consultation.html	センター	一般市民、医療従事者、教育関係者	当センターWebsite「アレルギー情報ステーション」でのメールによる相談窓口運営、主な質問の Q&A 集の作成、公開
				当センターWebsite 、公式Ｘにてアレルギーに関する情報の啓蒙活動、講演会・研修会等の情報公開を実施 さらに講演会等の動画についてチラシを作成し配布		一般市民、医療従事者、教育関係者	当センターWebsite 、公式Ｘにてアレルギーに関する情報の啓蒙活動、講演会・研修会等の情報公開を実施
			一般市民、医療従事者	第 1 回藤田医科大学アレルギーをともに考える会　WEB 開催（第 84 回藤田医科大学アレルギー勉強会と同時開催） 2026 年 1 月 29 日　合計視聴者数 304 名		一般市民（患者・患者家族）	アレルギーを語り合う会 in 愛知の開催 アレルギー疾患の正しい情報提供の実施
		総合アレルギー科	一般市民 医療従事者	アレルギーの子どもたちを支える専門職の研修会「アレルギー児が社会輝くために～小児期から成人期を見据えた学校・園での対応と就学・就労の両立支援」　2025 年 12 月 11 日	総合アレルギー科	一般市民	名城大学薬学部卒後教育講座「皮膚・食物アレルギー診療のいま-病態理解から考える最新治療と患者支援-」　2026 年 5 月 17 日
		小児科	医療従事者・飲食業者	Food Allergen Management Symposium 2025 Food Allergy Management Using a List of Processed Foods Containing Allergenic Proteins　2025 年 5 月 21 日	上記に加え、各診療科においても積極的な情報提供を実施し、アレルギー疾患に関する普及啓発の推進に努めていく。		
			一般市民	令和 7 年度事業　小学生ぜん息教室：医師講話 ぜん息ってなあに？親子で安心できる知識と対処法 2025 年 7 月 5 日			
			医療従事者と患者の親	第 25 回食物アレルギー研究会：ティーセミナー ナッツ類の感作は摂取開始前にチェックするべき　Pro の立場から　2025 年 2 月 9 日			
			一般市民	第 32 回アレルギー週間市民公開講座 変わる！食物アレルギーの新常識　2025 年 2 月 21 日			
			一般市民	豊田市民公開講座：講演 目からウロコの魚アレルギーQ&A　2026 年 3 月 28 日			

人材育成	研修会等	センター	教育関係者、地域の医療従事者	藤田医科大学アレルギー勉強会 Web 配信 〈第 82 回 2025 年 5 月 22 日、第 83 回 2025 年 9 月 25 日、第 84 回 2026 年 1 月 29 日（第 1 回藤田医科大学アレルギーをともに考える会と同時開催)〉 計 3 回合計視聴者数 538 名	センター	教育関係者、地域の医療従事者	藤田医科大学アレルギー勉強会 Web 配信　年 3 回開催予定
			看護師（院内）	アレルギーケア看護師育成プログラム総論編での講演 2026 年 1 月 29 日		看護師（院内）	アレルギーケア看護師育成プログラム総論編での講演
			教育関係者	令和 7 年度 知多市学校保健会研究総会：講演 学校で必要なアレルギーの正しい知識と対応 ―子どもを守るために、今日からできること― 2026 年 2 月 5 日　対面開催 73 名参加	総合アレルギー科	医師 医療従事者	第 42 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 スポンサードシンポジウム「患者さんとともに考えるアトピー性皮膚炎の治療ゴール」 2026 年 4 月 18 日
			看護師	青森県看護協会 看護師向け研修会：WEB 講演・実技研修 アレルギーによる皮膚トラブルの対応を学ぶ 2025 年 12 月 17 日　約 50 名参加		医師 医療従事者	第 53 回日本毒性学会学術年会 第 23 回市民公開セミナー「身近なアレルギーと上手につきあう-日常生活に潜む原因と対策-」　2026 年 7 月 4 日
		総合アレルギー科	医師 医療従事者	第 41 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 「手湿疹から学ぶ皮膚アレルギー　痒みのマネージメントと共に」　2025 年 4 月 5・6 日		医師 医療従事者	第 42 回日本小児臨床アレルギー学会学術大会 シンポジウム 2026 年 7 月 11・12 日
			医師 医療従事者	第 41 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会「接触皮膚炎の今を知ろう　新たな接触皮膚炎」　2025 年 4 月 5・6 日		医師 医療従事者	第 54 回西日本小児アレルギー研究会特別講演　2026 年 8 月 1 日
			医師	小児アトピー性皮膚炎治療 Seminar ～外用薬の適正使用を中心に～　2025 年 4 月 10 日		医師	第 20 回相模原臨床アレルギーセミナー（WEB 開催） プリックテスト・パッチテスト　2026 年 8 月 3 日～8 月 31 日
			医師 医療従事者	第 124 回日本皮膚科学会総会 プリックテスト・パッチテストハンズオンセミナー入門編 2025 年 5 月 29・30・31 日・6 月 1 日		医師	愛知県保険医協会 内科臨床研究会「アトピー性皮膚炎について」　2026 年 11 月 7 日
			医師 医療従事者	第 124 回日本皮膚科学会総会 「日常で見られる頭髪製品によるトラブルと注意すべき点」 2025 年 6 月 14・15 日	小児科	医療従事者	日本小児臨床アレルギー学会　第 33 回 スキルアップセミナー
			医師 医療従事者	第 41 回日本小児臨床アレルギー学会学術大会 「新しい食物アレルギーの管理方法 ～治らない食物アレルギーにどう向き合うか～ 成人の食物アレルギーを診る立場から成人における食物アレルギー診療の現状と課題」 2025 年 5 月 29・30・31 日・6 月 1 日		医療従事者	第 42 回日本小児臨床アレルギー学会学術大会 加工食品のアレルゲン含有量早見表の活用とその位置づけ 2026 年 7 月 11 日
			医師 医療従事者	第 1 回福岡県アレルギー講習会 「移行期からの成人の食物アレルギー」 「藤田医科大学ばんたね病院の拠点病院の取り組み」 2025 年 6 月 15 日	上記に加え、各診療科においても積極的な人材育成を実施し、アレルギー疾患に関する普及啓発の推進に努めていく。		

人材育成	研修会等	総合アレルギー科	医師	第 40 回彩・呼吸器アレルギーセミナー「成人食物アレルギーと QOL：職場、外食、ライフイベントをどう支えるか」　2025 年 7 月 10 日	
			医師	臨床アレルギー研究会　2025 年 7 月 19 日	
			医師	第 19 回相模原臨床アレルギーセミナー（WEB 開催）　プリックテスト・パッチテスト　2025 年 8 月 1 日～9 月 1 日	
			看護師	豊田訪問看護師育成センタースキルアップ研修「アレルギー疾患の最新情報＆在宅でよく観る皮膚疾患」　2025 年 8 月 18 日	
			医師	静岡アレルギーカンファレンス 2025　2025 年 9 月 4 日	
			医師 医療従事者	日本香粧品学会 第 50 回教育セミナー「香粧品業界への期待～皮膚科医から」　2025 年 9 月 12 日	
			医師 医療従事者	第 8 回臨床アレルギー講習会 講義「アトピー性皮膚炎」、実技指導「皮膚検査」　2025 年 9 月 21 日	
			医師 医療従事者	第 25 回日本歯科医学会学術大会「歯科金属アレルギーにおける医科歯科連携に向けて 金属アレルギーの新規管理法の確立に関する研究,」　2025 年 9 月 26・27・28 日	
			医師	第 77 回和歌山県皮膚科医会学術講演会「蕁麻疹の病態と治療における最新知見：何が変わったのか？」　2025 年 9 月 27 日	
			医師	第 7 回 Cross Allergic Seminar in Okinawa　2025 年 10 月 2 日	
			医師	TOKAI 小児アトピー性皮膚炎の未来を考える会　2025 年 10 月 11 日	
			医師 医療従事者	第 74 回日本アレルギー学会学術大会「金属アレルギーの現状と課題・感作予防と診療体制整備に向けて」2025 年 10 月 24・25・26 日	
			医師 医療従事者	第 74 回日本アレルギー学会学術大会「成人に多い食物アレルギー診療・管理の課題,」2025 年 10 月 24・25・26 日	
			医師	ばんたね病院 CHC meeting「眼と皮膚をつなぐアレルギー診療」　2025 年 11 月 8 日	
			栄養士	北海道栄養士会 第 2 回イブニングセミナー「食品から金属アレルギーまで その機序と対応について」　2025 年 11 月 11 日	
			研究者	日本家政学会皮膚衛生学部会講演会「皮膚バリアと衣服環境 - 皮膚科専門家の視点から」　2025 年 11 月 15 日	
			医師 医療従事者	第 37 回パッチテスト・プリックテスト 2025 東京 ハンズオンセミナー　2025 年 11 月 16 日	
			医師	接触皮膚炎 Update 2025　2025 年 11 月 18 日	

人材育成	研修会等	総合アレルギー科	医師 医療従事者	第 38 回パッチテスト・プリックテスト 2025　東京ハンズオンセミナー　2025 年 11 月 30 日	
			医師 医療従事者	第 7 回日本アレルギー学会東海地方会「アレルギー性疾患に対する病診連携、他科連携」　2026 年 3 月 8 日	
		小児科	医師	豊田加茂小児科医会講演会 アレルギー診療の最前線　予防から治療、そして地域連携へ 2025 年 5 月 10 日	
			医療従事者	第 79 回日本栄養・食糧学会大会：教育講演 果物・野菜・花粉重症アレルゲン Gibberellin regulated protein がクルミにも存在する 2025 年 5 月 23 日-25 日	
			医療従事者	第 41 回日本小児臨床アレルギー学会学術大会：教育講演 食物アレルゲンはどこまで明らかになっているか：診断と治療の進展　　2025 年 6 月 14 日-15 日	
			医師	第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会：パネルディスカッション 小児科医の視点から考える小児耳鼻咽喉科学会の入会促進―アンケート調査の結果から　　2025 年 6 月 19-20 日	
			医師	第 49 回日本小児皮膚科学会学術大会：教育講演 小児の皮膚疾患診療におけるアナフィラキシー　検査・治療で起こりうる“まさか”に備える　　2025 年 7 月 19-20 日	
			学校教員	令和 7 年度東郷町立小中学校における食物アレルギー対応検討委員会：特別講義 食物アレルギーの最新知見と現場でのアナフィラキシー対応 2025 年 8 月 4 日	
			医師	第 19 回相模原臨床アレルギーセミナー：講演 小児食物アナフィラキシーへの対応 〜学校でのアナフィラキシー対応における教育の重要性 2025 年 8 月 6 日（ハイブリット）	
			医師	第 6 回日本喘息学会総会学術大会：シンポジウム 小児喘息患者の生活指導の要点 ― ホー吸入法に着目した吸入指導の実践と課題 ― 2025 年 8 月 9 日-10 日（ハイブリット）	
			学校教員	豊田市アレルギー対応研修会：講演 ひやりはっと事例から学ぶ食物アレルギー対応 2025 年 8 月 27 日	

人材育成	研修会等	小児科	医師	第 8 回 FUKUl アレルギーカンファレンス：講演 PFAS の最前線と小児アレルギー性鼻炎の実態　1,000 人鼻炎患児アンケートから見えた臨床の課題 2025 年 8 月 28 日	
			教員・栄養士	食物アレルギーセミナーin 山梨：講演 ひやりはっと体験から学ぶ食物アレルギー初期対応 2025 年 9 月 7 日	
			医療従事者	第 62 回日本小児アレルギー学会学術大会 The effect of consuming processed foods containing allergen for the treatment of egg, milk and wheat allergy 2025 年 10 月 4 日	
			医師	ミチーガ 30 ㎎バイアル発売記念講演会 in 安城：講演 かゆくて眠れない子どもたちに－アトピー性皮膚炎の新しい治療選択肢－　2025 年 10 月 8 日	
			医療従事者	第 11 回脳・神経全身救急治療の ABC：講演 愛知県内教育施設におけるアナフィラキシー対応教育の継続的取り組み　2028 年 10 月 26 日	
			医師	第 43 回東海外来小児科研究会：シンポジウム 吸入療法・本来の効果を発揮させるためには　― ホー吸入法に着目した吸入指導の実践と課題 ―　2025 年 11 月 24 日	
			医療従事者	第 12 回クリティカル看護勉強会 注射剤の血管内投与後に発症した成人アナフィラキシーによる死亡事例の検証　2026 年 11 月 26 日	
			医療従事者	第 20 期アレルギー大学研究発表・実践報告：特別講演 魚・果物・ナッツでアナフィラキシー?! 現場で役立つ知識と対応　2026 年 2 月 22 日	
			医療従事者	豊田訪問看護師育成センタースキルアップ研修：WEB 講演 小児アレルギーに対する最新の知識とケア ～ケアに活かせる知識のアップデート～　2026 年 2 月 24 日	
			医療従事者	第 7 回日本アレルギー学会東海地方会：アフタヌーンセミナー 舌下免疫療法時代における小児アレルギー性鼻炎診療の現状と課題　― 医師・患者アンケートから考える ― 2026 年 3 月 8 日	
			医療従事者	第 7 回日本アレルギー学会東海地方会：一般演題 病院食における食物アレルギー対応の実態調査のアンケート報告　2026 年 3 月 8 日	

人材育成	研修会等	小児科	医師	第 12 回日本アレルギー学会総合アレルギー講習会：会長企画 アナフィラキシー死ゼロへの挑戦 アナフィラキシー死亡ゼロを目指して：食物・薬剤・ハチ毒アレルギーのリスク管理と学校職員への予防教育 2026 年 3 月 14 日	
			薬剤師	豊田薬剤師会 薬剤師が関わるアナフィラキシー対応 ―アナフィラキシー死を防ぐための予防・初期対応―　　2026 年 3 月 29 日	
		眼科	医師	病診連携の会：CHC meeting in NAGOYA 2025 年 11 月 8 日 「眼と皮膚をつなぐアレルギー診療」	
			医師	病診連携の会：CHC meeting 2026 年 2 月 7 日 「眼科領域における皮膚アレルギー疾患の病態・臨床・対策」	
助言指導		小児科	一般市民	中村区　子どものアレルギーとぜん息相談（年 12 回）	各診療科において、アレルギー疾患に関する積極的な助言・指導に努めていく。
			一般市民	思春期ぜんそくサッカー教室　2025 年 11 月 29 日	
			一般市民	ぜんそくスケート教室　2025 年 12 月 23 日	
			患者	スキンケア合宿と題し、学童期対象のアトピー性皮膚炎患者に連休を利用した集団教育入院の実施	

３．アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実　　績（令和７年度）	今　後　の　予　定（令和８年度）
診療	【アレルギー疾患患者に対する各種検査】 ・　食物負荷試験：小児科 延べ実施件数1,775件、総合アレルギー科 実施患者数64名/延べ実施件数79件 ・　皮膚テスト：プリックテスト437件、パッチテスト266件 ・　好酸球性胃腸炎検査：22件 ・　肺機能検査：1,041件、呼吸抵抗測定：593件、呼気ガス試験505件 ・　アレルギー性鼻炎における鼻汁好酸球特異的抗体検査：1件 ・　血清IgE値検査の測定：2,747件	・　引き続き、アレルギー疾患患者に対する各種検査の継続、強化
	【中等症～重症のアレルギー疾患に対する治療内容】 ・　アトピー性皮膚炎（生物学的製剤/JAK阻害剤）497症例　（総合アレルギー科+皮膚科） ・　慢性特発性蕁麻疹（ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤）98症例　（総合アレルギー科+皮膚科） ・　成人喘息（ヒト化抗IL-5モノクローナル抗体・ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体・ヒト化抗IL-5受容体αモノクローナル抗体）92症例　（呼吸器内科） ・　アトピー性皮膚炎（生物学的製剤/JAK阻害剤）51症例（小児科） ・　小児喘息・慢性特発性蕁麻疹・季節性アレルギー性鼻炎（ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤）11症例　（小児科）	・　引き続き、中等症～重症のアレルギー疾患に対する最新治療の実施

診療	・　季節性アレルギー性鼻炎 16症例（耳鼻咽喉科） 【アレルギー疾患患者への免疫療法】 ・　ダニ・スギ花粉症患者への舌下免疫療法 736件 【令和７年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業】 ・　両立支援面談症例数 17件	・　引き続き、アレルギー疾患患者への免疫療法の実施 ・　引き続き、免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援の実施
研究	《論文》 【総合アレルギー科】 ・　Metz M, Saini SS, Yagami A, Gagnon R, Giménez-Arnau AM, Luo X, Robinson LB, Martinčová R, Radin A, Makhija M. Dupilumab in patients with cold urticaria: Results from a phase 3 trial. J Allergy Clin Immunol Glob. 2026 Feb 17;5(3):100673. ・　Hayama K, Chinuki Y, Yagami A, Kume A, Morita A, Miyazu S, Lheritier K, Jaskiewicz L, Haemmerle S, Hide M. Remibrutinib Showed a Favorable Safety Profile and Sustained Efficacy in Japanese Patients with Chronic Spontaneous Urticaria Over 52 Weeks. Dermatol Ther (Heidelb). 2026 Mar;16(3):1707-1721. ・　Mochizuki S, Shimojo N, Matsui T, Kitamura K, Sato M, Sugiura S, Takasato Y, Nakamura M, Matsunaga K, Yagami A, Ito K. Proteomic approach to investigate allergens involved in severe walnut allergy. Pediatr Allergy Immunol. 2026 Feb;37(2):e70291. ・　Yaguchi T, Ishikawa F, Jimbo C, Omori M, Hagino K, Harama D, Umezawa K, Suzuki D, Hirai S, Toyokuni K, Yamamoto-Hanada K, Mu S, Sato N, Nakamura M, Yagami A, Fukuie T. Severe shrimp FDEIA associated with low-level arginine kinase sensitization and aspirin cofactor. Pediatr Allergy Immunol. 2026 Jan;37(1):e70278. ・　Matsui T, Shimojo N, Ishiguro T, Kitamura K, Takasato Y, Sugiura S, NakamuraM, Matsunaga K, Yagami A, Ito K. Exploration of severity-associated peanutallergens via proteomic analysis. Pediatr Allergy Immunol. 2025Dec;36(12):e70254. ・　矢上 晶子. 食物アレルギーの新たなアレルゲンおよびその解析. アレルギー(0021-4884)74 巻 2 号 Page47-51(2025.04). ・　Yamamoto M, Kawabe T, Osugi Y, Sato N, Nakamura M, Matsunaga K, Horiguchi T, Yagami A. Two cases of edible cricket allergy: Antigen analysis and cross-reactivity with shrimp and mite allergens. Allergol Int. 2025 Jul;74(3):485-487. ・　Mori Y, Okamoto-Kawai N, Inuo C, Matsumoto S, Momma K, Sugiura S, Fukuie T, Nagao M, Yagami A, Matsunaga K, Fujisawa T, Ito K, Narita H, Kondo Y; FruitsAllergy Component Study Group, Japan. Usefulness of gibberellin-regulatedprotein specific IgE measurement in patients with systemic symptoms of appleallergy with exercise. J Dermatol. 2025 May;52(5):888-896. ・　矢上 晶子. 【爪診療アップデート-見逃さない・迷わないためのプラクティカルガイド-】ネイル製品(レジンやアクリル)関連の爪疾患. 皮膚科の臨床(0018-1404)67 巻 12 号 Page1520-1524(2025.11). ・　藤枝 重治, 中丸 裕爾, 熊井 琢美, 白崎 英明, 松岡 伴和, 大澤 陽子, 川島 佳代子, 阪本 浩一, 海老澤 元宏, 矢上 晶子, 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会, 口腔アレルギー症候群診療ガイ	

研究	ドライン作成委員会. 口腔アレルギー症候群診療ガイドライン. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌(2435-7952)5 巻 3 号 Page85-124(2025.09). ・ 矢上 晶子. 【目の痒みのサイエンス】眼瞼炎と痒みの原因とコントロール. OCULISTA(2187-5855)146 号 Page50-55(2025.05). 【小児科】 ・ Yuji Mori, Keiko Momma, Hikaru Sugita, Toya Kono, Nobuaki Okumura, Hiroshi Narita, Yasuto Kondo. IgE reactivity to a walnut gibberellin-regulated protein in a patient with walnut anaphylaxis: A case report. Allergol Int. 2025;4:S1323-8930(25)00119-4. ・ Yuji Mori, Natsuki Okamoto-Kawai, Chisato Inuo, Shinya Matsumoto, Keiko Momma, Shiro Sugiura, Tatsuki Fukuie, Mizuho Nagao, Akiko Yagami, Kayoko Matsunaga, Takao Fujisawa, Komei Ito, Hiroshi Narita, Yasuto Kondo. Usefulness of gibberellin-regulated protein specific IgE measurement in patients with systemic symptoms of apple allergy with exercise. J Dermatol. 2025;00:1–9. ・ Sugita H, Mori Y, Yoshikawa T, Kondo Y. Enhancing the Diagnostic Accuracy of the IgE crosslinking-induced luciferase expression (EXiLE) Method for Walnut Allergy. Allergol Immunopathol (Madr). 2025;53(2):89-99. doi: 10.15586/aei.v53i2.1267. 【眼科】 ・ 谷川篤宏. 中毒性前眼部症候群と細菌性眼内炎を網膜電図で鑑別する. 眼科手術 38(3): 422-425, 2025. 《研究内容》 【総合アレルギー科】 ・ 化粧品等のアレルギー確認方法確立に関する研究 ・ 医薬品等の添加物によるアレルギーに関するアンケート調査 ・ 金属アレルギーに関する全国実態アンケート調査 ・ 歯科・循環器内科・整形外科等における金属アレルギー診療実態調査 ・ 皮膚科における金属アレルギー診療の実態調査 ・ 歯科・循環器内科・整形外科等における金属アレルギー症例実態調査 ・ 日本接触皮膚炎研究班パッチテスト試薬共同研究 ・ 移行期成人期における食物アレルギー診療の確立に資する研究 ・ アレルギー性接触皮膚炎のバイオマーカータンパク質の探索研究 ・ 特異的 IgE 抗体価測定試薬の性能評価 ・ スギ免疫療法の健康リスクと他アレルギー疾患への影響に関する実態調査 ・ ヘアカラーアレルギーのバイオマーカータンパク質の探索研究 ・ 網羅的遺伝子解析によるアトピー性皮膚炎発症リスクの層別化～第二段～ ・ 皮膚保護オイルによるアレルギー性接触皮膚炎の症状誘発抑制効果の検証 ・ アレルギー拠点病院ネットワークを活用したアナフィラキシー症例集積研究 ・ 成人の食物アレルギー診療の確立に資する研究体制構築を目指す研究 ・ アトピー性皮膚炎に対しデュピクセントを使用する患者を対象としたプロスペクティブ観察研究	・ 左記研究の充実をはかり、論文作成を目指す

研究	・　金属アレルギーの診断におけるロイココンプリート法の有用性の検討 ・　シズオカクロバネキノコバエの発生状況、診療状況調査 ・　アトピー性皮膚炎における臨床型と治療反応に関連するバイオマーカーの解析 ・　アレルギーリスクの低い酸化染料を用いたヘアカラーの使用可能性に関する研究 ・　小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの原因遺伝子解析とそれに対応する小麦品種の探索 ・　NAMs を用いた医薬品等の安全性評価試験の開発と行政活用に関する研究 ・　アレルギー拠点病院ネットワークを活用したアナフィラキシー患者参画縦断的調査 ・　アレルゲン感作・HLA・皮膚バリア機能に基づいたアレルギー疾患の病態解明と予防戦略 ・　アレルギー疾患が就学・就労に及ぼす影響に関する院内実態調査 ・　化粧品等のアレルギー確認方法確立に関する研究 ・　抗体エピトーププロファイリング技術による、アレルギー患者の層別化 ・　アレルギー疾患における臨床症状と検査結果の網羅的解析 ・　プロテオミクス手法による各種アレルギー疾患の要因解析 【消化器内科】 ・　好酸球性食道炎･好酸球性胃腸炎における疾患関連遺伝子および統合オミックス解析 ・　好酸球脱顆粒が全身に及ぼす影響に関する検討 【小児科】 ・　臨床的交差反応診断のための EXiLE inhibition 法の有用性に関する研究 ・　Allergenicities of the multiple individual parvalbumins in fish ・　アレルゲン性の低減したソバの探索ならびに低減を実現する要因の特定 ・　AI を用いた乳幼児アレルギー発症予測モデル構築とアレルギー予防支援システムの効果 ・　低アレルゲン特性を有する革新的多収性ソバ育種母集団の育成と育種基盤強化	

４．アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

・　食物アレルギーひやりはっと事例集を作成し、患者および医療機関への配布並びにホームページ等での公開を行った。
・　加工食品のアレルゲン含有量早見表を作成し、医療機関へ配布した。
・　厚生労働科学研究成果として「金属アレルギー診療と管理の手引き 2025」を発行し、全国の医療機関等への配布およびホームページ等での公開を行った。また、厚労省モデル事業において作成した「アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立支援実施の手引き」と併せて、アレルギーポータルに掲載された。
・　成人食物アレルギーに対する新たな治療法の検討を推進する。
・　診療科横断型のアレルギー診療体制の充実を図るとともに、ホームページや X 等を活用した積極的な情報発信を継続し、県民への正しい知識の普及啓発および生活の質の向上に努める。
・　愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会事務局として、県内拠点病院や地域医療機関との連携強化を図り、研修会や講演会等を通じて医療従事者の人材育成および県内アレルギー診療体制の均てん化を推進する。
・　病院食における食物アレルギー対応に関する研究を、県内拠点病院およびアレルギー疾患医療連絡協議会と連携して推進する。
・　厚生労働省モデル事業として実施した治療と就労の両立支援の実績を活かし、他医療機関および多診療科と連携した安全かつ継続的な支援体制の構築に努める。
・　全国の医療機関からの研修受入れを継続し、アレルギー専門医療機関として、専門的人材の育成およびアレルギー診療水準の向上に貢献する（2025 年 4 月～2026 年 3 月：13 人実施）。